# 創刊3000号 これからの観光経済新聞に望む

順不同

## 的確な情報発信を期待

田端浩・観光庁長官

観光経済新聞が創刊3千号を迎えられましたことと心よりお祝い申し上げますとともに、ご関係の皆さまの長年のご努力に敬意を表します。

さて、いよいよ2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を間近に控え、政府においては、外国人観光客数4千万人の目標達成に向け、訪日外国人にとって「当たり前」の環境整備を着実に進め、また、都心部のみならず地方部へ足を運んでいただくため、日本各地に存する豊富な観光資源を最大限活用し、世界に向けて強力かつ戦略的なアピールに取り組んでおります。

こうした中、2020年の一大イベントの成功に向け官民挙げて取り組みを進めていくためには、観光産業界全体を俯瞰しつつ、的確に情報発信していただくことが非常に重要であると考えており、貴紙の役割に大いに期待をしております。

今後のますますの御発展を祈念いたしまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

## 業界の発展 観光先進国へ

藤田一郎・厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生課長

「観光経済新聞」創刊3千号を心からお祝い申し上げます。創刊以来、日本の観光産業の魅力を発信し、業界の発展に貢献いただいていることに心より敬意を表します。

旅館・ホテルを取り巻く環境としましては、日本の超高齢化社会、急増する訪日外国人旅行者や東京2020オリンピック・パラリンピックなどにより、高齢者の方や外国人の方の利用が増加しています。そのため、安心して快適に寛げる「人にやさしい宿」の重要性がますます高まっていると思います。

貴紙におかれましては、創刊3千号を新たな出発点として、一層ご尽力いただき、業界の発展、「観光先進国」の実現にお力添えいただくことを期待しています。

**日頃観光に深く携わっておられる多くの皆さまから本紙の「創刊3千号」を祝って下さるコメントをいただきました。これからの紙面刷新のために、と厳しい批判をお願いしたのですが、やはり「おめでとう」という内容が多くを占めました。しかし、中には「より広い視野で」「もっと掘り下げた内容を」など本紙が目指すべき方向を的確に指摘されるコメントもあり、社員一同改めて使命の重さをかみしめました。読者のご期待を裏切ることのないよう、さらに紙面の刷新に努めますので今後ともご理解とご支援をお願い致します。なお、コメントは順不同で掲載させていただきました。**

## 最新情報と生の声届けて

山本麻衣・環境省自然環境局温泉地保護利用推進室長

観光経済新聞創刊3千号おめでとうございます。多年にわたり、多様な観光情報の収集・発信を行い、観光振興に多大な貢献をしてこられたことに、心より敬意を表します。中でも、温泉については、関係者の中でも非常に関心の高い「にっぽんの温泉100選」や「人気温泉旅館ホテル250選」を企画され、温泉地や旅館ホテルの目標になるとともに、利用者にとっても有益な情報を提供してこられました。

温泉は、日本の観光において非常に重要な資源であり、環境省としても、温泉資源の保護とともに、温泉地活性化に取り組んでまいります。貴紙におかれても、引き続き、温泉に関する最新情報や、観光の現場での生の声をお届けいただけることを期待しております。

## 百年目指し さらに発展を

中村徹・地域伝統芸能活用センター会長

創刊3千号心からお祝い申し上げます。

1950年創刊の由、70年間観光業界の声となり耳となって、その発展に貢献されたことに深く敬意を表します。私は約60年前運輸省観光局の担当官でしたが、その当時、観光行政は政府で全く相手にされませんでした。ところが、観光を取り巻く環境は激変しました。

観光庁ができ、観光政策は政府の重要政策の一つです。外国人観光客の数は、3千万人を超えています。でも観光業界は環境の変化によりかえって難しい多くの困難を抱え苦しんでいます。こういう時代だからこそ貴紙が観光の大事な情報機関として業界に必要な情報を提供し、業界の声を、また実情を一般社会に伝えることが重要だと思います。さらに附言すれば、長く親交のあった故江口前社長が情熱を傾けて語り、憂いていた観光業界の将来にいま一度思いを致してほしいと思います。

これから創刊百年を目指し貴紙が重要な業界紙としてますます発展されるようお祈りします。

## 観光経営の導きの灯に

本保芳明・国連世界観光機関駐日事務所代表

創刊3千号、誠におめでとうございます。戦後の日本の観光とともに歩み、その発展をリードし、支えてこられた貴紙に心からの敬意を表します。

観光は、常に変化し続けておりますが、特に、ここ数年のインバウンド急増に伴う日本観光の変貌は著しいものがあります。外国人需要の急増は、観光地、観光産業をさまざまな面で潤しておりますが、同時に、観光経営にとっては、正負両面での大きなチャレンジであり、観光経営のかじ取りを難しいものとしています。今後、人口減が本格化するに伴い、観光経営の難しさが増すことは間違いがありません。新しい発想、技術、革新が必要とされます。貴紙が、引き続きその導きの灯となることを期待します。

## 新時代に向け針路を照らせ

田村明比古・成田国際空港社長

観光経済新聞が創刊3千号を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

観光産業は、昭和20年代半ばの創刊当時から、新しく令和となった現在まで、劇的な変化を遂げ、今やこれからのわが国の基幹産業としてさらに成長していくことが期待されています。その間、貴紙の良識ある記事の数々が、観光の発展に大きく貢献してこられましたことに対しまして、深く敬意を表します。

成田空港も、内外のお客さまの安全で快適な空の旅をしっかりと支え、わが国の観光のさらなる発展に貢献してまいる所存です。

貴紙には、今後とも、変化の激しい新時代に観光関係者が前進していくための針路を照らし続けていただくようご期待申し上げます。

## MICEへの関心高めて

猪口邦子・日本コングレス・コンベンション・ビューロー（JCCB）会長

このたびは創刊3千号誠におめでとうございます。長年にわたり、観光産業の発展に尽くしてこられた貴紙の功績に、深く敬意を表します。

24年目を迎えたJCCBは、設立以来一貫してMICEの振興に努めてまいりました。特に国際会議の推進においては、国内各都市で会員が中心となり、主催者をサポートして、数多く誘致を成功させ、地域経済発展に大きな役割を果たしています。世界的に見てもMICEビジネスは成長していますが、わが国においても、政策として推進しており、今後確固たる産業として成長してほしいと願っております。そのためにも人材育成は重要であり、観光経済新聞の情報発信力で、一人でも多くの方にMICEへの関心を高めていただくことを期待いたします。

## 観光分野の活動リードを

梅﨑壽・日本ナショナルトラスト会長

観光経済新聞3千号、誠におめでとうございます。

貴紙は、戦後の混乱からようやく復興に向けて歩み始めた1950年、まだ観光の社会的地位が低かった時代に創刊され、今日に至るまで絶え間ない進歩を続け、観光・旅行業界の専門紙として揺るぎない地位を確立されました。併行して観光産業界は大きな発展を遂げ、近年は政府の成長戦略の柱として重要な位置を占めるようになりました。こうした中、貴紙が果たして来られた役割は極めて大きく、そのご功績に敬意を表する次第です。現在は「観光立国の実現は地域から」をテーマにさまざまな角度から情報を発信されており、これからも観光分野の活動をリードし続けられることを強く期待しております。

当財団としてもわが国の美しい自然環境や歴史的な文化財といった観光資源を「守る」「伝える」「つなぐ」という活動を通じて魅力ある地域づくりや地域の活性化を推進し、貴紙とともに観光の発展に貢献してまいりたいと思います。

## 時代を捉えて広い視野で

清野智・日本政府観光局（JNTO）理事長

このたび、創刊3千号を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

本年はラグビーワールドカップ、来年には東京オリンピック・パラリンピックと二大イベントが続き、国内外から日本における観光業の注目度が増しています。

こうした中、70年という長きにわたり、貴重で有益な情報を提供してきた貴紙の役割と重要性は、今後一層高まるものと思われます。

これからも観光業をリードし続ける専門紙として、常に時代を捉え、広い視野による価値ある情報提供を期待しています。JNTOも貴紙とともに観光立国の実現に向け、取り組んでまいる所存です。

最後になりましたが、これまでの貴紙の功績と尽力に深く感謝を表するとともに、ますますのご発展を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 観光のちから発信を期待

山西健一郎・日本観光振興協会会長

創刊3千号の発刊を心からお祝い申し上げます。

1950年に創刊されて以来、日本の旅館・ホテルや旅行会社など観光・旅行業界の専門紙として、業界情報を掲載、発信に努めてこられました。この68年間のご活躍により、わが国の観光振興に多大な功績をあげられたことに、心より感謝申し上げます。

訪日外国人客数4千万人時代に向けて、観光は成長産業として日本経済において重要な役割を担うに至っております。また、世界的な観点からみても観光は成長を続けており、観光が持つ力の重要性は一層増してきているといえます。

今後も観光産業界を牽引（けんいん）する業界紙として、「観光のちから」を紙面から発信する役割を期待しております。

## 情報提供と叱咤激励を

久保成人・日本観光振興協会理事長

創刊3千号の発刊を心からお祝い申し上げます。長きにわたり観光・旅行業界の専門紙として、業界発展のためご尽力いただき、深く敬意を表します。

当協会は日本の観光振興のナショナルセンターとして、刻々と変化する観光業界を取り巻く環境に対応し、地域や産業界の要望に応えるため、具体的に政策提言活動にも取り組んでおります。

新たな成長発展を遂げるためにも、これまで通り、貴重な情報の提供、業界への提言、時には叱咤（しった）激励をいただきたく、お願いしたいと思います。

貴紙には、これからも観光業界の質の高い、的確な情報発信を今後もお願いするとともに創刊3千号からさらに新しい歴史に向かって、より一層のご発展を祈念いたします。

## 日韓1500万人の交流達成へ

鄭辰洙・韓国観光公社東京支社長

観光経済新聞の創刊3千号を心からお祝い申し上げます。

貴紙は、観光業界を先駆する媒体として、日本の観光政策や観光動向、観光マーケティングの理解に大きな役割を果たしてくれています。観光環境の変化や日本の「観光立国」政策の推進に向け、観光業界をリードする媒体としてさらなる発展をお祈りします。

今年、韓国観光公社東京支社は設立50周年を迎えました。支社運営にあたり長きにわたり、貴紙のお力添えをいただいていることに深く感謝いたします。

これからも、日韓両国間の観光交流1500万人の達成や両国の地方観光活性化など、「観光」が次のステップに成長していくために、業界を牽引（けんいん）していく存在であることを切に願っております。

## さらなる発展目指して進め

藤野公孝・国際観光文化交流協会理事長

創刊3千号の発行を祝し、心からお慶び申し上げます。

ミレニアムを迎えた2000年（平成12年）当時の運輸大臣二階俊博先生（現在自由民主党幹事長）の大号令により、自論の観光立国実現に照準を合わせた観光行政の大改革作業が始まりましたが、貴紙江口恒明社長（当時）はそれを後押しするかのようにキャンペーン「観光立国実現は地方（地域）から」との主張を強力に展開され、今日の発展を観（み）ました。

願わくは今後とも観光大国の高みを目指してインバウンドと共に国民宿泊観光の充実拡大の重要性を主張していただきたい。

## バランスの取れた観光

加藤隆司・四国旅客鉄道常務

創刊3千号まことにおめでとうございます。さまざまな場面で貴紙にはお世話になりました。観光庁、JNTO、そして現在のJR四国勤務を通じ、わが国のインバウンド、観光振興の後押しをしていただいたことに感謝いたします。

愛媛県出身として、四国の観光発展を通じた弊社の基盤強化を目指しておりますが、やはり、わが国の総合力を発揮するためには、集中することなくバランスの取れた観光発展が求められます。

四国は残された観光エリアとして最近海外からも脚光を浴びております。

インバウンドのお客さまをしっかりとおもてなしして、日本全体のインバウンド拡大に貢献したいと思っておりますので、引き続きご支援をお願いいたします。


JTB商事　取扱い商品のご案内

ホテル・旅館用品充実のラインナップ

JTB商事オリジナルのインバスアメニティや宿泊施設様向け客室備品掲載中
多様化する宿泊ニーズへの対応をサポートいたします

JTB　感動のそばに、いつも。

消耗品 メインカタログ（アメニティ版）

装備品 メインカタログ

2019 One-stop Express　欲しい商品がきっと見つかる！　消耗品　装備品　多数掲載

かぐわしいオレンジの甘い香りで
一日の始まりと終わりのひとときを

JTB商事オリジナル　オーランジュ ロゼ ボーテ

太古の時を経た、天然泥でいつくしむ
健やかな頭皮と指どおりのよい髪に

JTB商事専売　KOSE プレディア ファンゴ

ホテル・旅館様の声から生まれた冷蔵庫

JTB商事オリジナル　JTB商事オリジナル コンプレッサー式冷蔵庫 TR-35

電源スイッチが前面設置で操作しやすい！

便利な収納スタンド付ドライヤー

清掃時間の短縮に！

JTB商事オリジナル　マイナスイオンドライヤー KHD-K300/TJ

SHARP

ホテル・旅館向け
プラズマクラスター 加湿空気清浄機

外国語表記のある
安心、使いやすい操作部
（日本語・英語・中国語対応）

JTB商事オリジナル
加湿空気清浄機
KC−M502J−W（ホワイト）
KC−M502J−H（グレー）

プラズマクラスター 7000

シャープ独自のプラズマクラスター技術の確かな効果・安全性が認められ、食品加工工場や医療関連施設などの高密度衛生空間でも多数採用されています。

資料請求・お問い合わせは、JTB商事旅館ホテル商事部まで Tel.03-6832-4710